

助成者：	森井 真理子	助成期間：	2020年4月～ 活動中
所 属：	認定NPO法人ボルネオ保全トラスト・ジャパン 理事		

動物を通じて次世代の子どもたちが考えるボルネオの自然環境問題 ～ICTを利用したマレーシアと日本の子どもたちの対話型遠隔教育～

【活動場所】 マレーシア国サバ州と日本の6つの動物園

【事業目的】 マレーシア（サバ）と日本の動物園スタッフが「ゾウ」を題材として行っている環境授業を、ICTを活用して日本とマレーシアを繋ぎ、子どもたちへ新たな環境教育を展開する。ゾウ生息地はパーム油プランテーション開発問題を抱えており、子どもたちが映像や対話、意見交換を通じて、ボルネオの自然環境問題を知り、自分ごととして関心をもつことを目指す。

主な活動内容：1年目：サバ州の野生動物公園スタッフが行う環境授業を日本の動物園スタッフへZOOMで実施し意見交換。日本の体験型ワークショップを、サバへリモート中継し意見交換。

2年目：①サバ、日本それぞれの動物園から地元小学校へ出前授業を実施。

②出前授業に参加した小学生を同じ日にサバ

・日本それぞれの動物園へ集め、映像とZoomを活用して交流型研修を実施。

③出前授業および交流研修のフォローアップ発表会をサバ・日本それぞれの小学校で実施。

3年目：

サバではゾウの出没地域の小学生と教師、日本では北海道のクマ出没地区の教師と小学生を対象とした研修を実施。実施方法は2年目のプロセスと同じ。



BES (ゾウの保護施設)



マレー語で紙芝居